28. ハウスミカンの加温時期と果実品質

(1) 加溫から発芽、発芽から開花、開花から着色開始期までの最低気温の積算は11月25日加温がやや多く要した。

(2) 高温期から酸含量が1％になるまでの積算気温は11月25日加温がやや少なかった。

(3) 糖度と酸含量は加温時期が違うと多少異なる推移を示したが、開花160日以降はほとんど変わらなかった。

(4) 加温160日以降になると、開花後の品質の経時変化は加温時期で多少異なったが、開花後130日以降になると、果皮の着色を除いては、ほとんど変わらなかった。

(5) 開花から酸含量1.0％までの平均気温の積算は約3700～4000℃であった。

図1 ハウス内気温の推移（11月25日加温）

図2 ハウス内気温の推移（12月15日加温）